

役に立つエレクトロニクスの総合誌

トランジスタ技術

特集

- 1 トランジスタ技術 編集記事の見どころ
- 2 広告を有効に掲載するための3つのポイント
- 3 広告料金や進行スケジュール 他

0

Media Data

CQ出版社

エンジニアの必需品

アジアの台頭、少子・高齢化など、さまざまな社会現象による閉塞感とともに、技術の見直しとより一層のレベルアップを期待する声が高まっています。中でもエレクトロニクスは、自動車、医療、ロボット、グリーンなど、進展が強く望まれている新分野にその応用が一気に広がろうとしています。このような状況下、電子機器の設計・開発に携わるエンジニアには、オリジナリティ、スピード、そして作る力が強く求められています。そして、真に使える技術情報を必要とする声の高まりを感じています。

強い電子機器を作るには、低コスト / 高性能 / 高機能 / 高信頼性を短い開発期間で実現しなければなりません。この現実的な要求に応えるためには、教科書にはない今すぐ使える技術情報が欠かせません。小誌は、実用性、再現性、そして具体性を第一に考え、実績ある回路図や実装板図を示します。実験や試作を通じた各種電子部品 / 半導体の性能を確認し、実際に装置に組み上げてその使い方を詳細にレポートします。また、最新デバイスを搭載した実験基板を設計し、「今すぐ使える」付録基板付きの特別増刊号も企画・制作しています。

編集長 寺前 裕司

媒体概要

- ・創刊:1964年10月
- ・発行形態:月刊(前月10日発売)
- ・判型式:B5判
(天地257mm×左右182mm)
- ・印刷方法:多色オフセット印刷
- ・製本方法:無線綴(左開き)
- ・発行部数:60,000部
- ・販売方式:全国書店販売、年間予約販売
- ・定価:820円(税込)

トラ技の見どころ ①

最新部品やICの試用レポート

日々誕生し、進化する新しい部品やICを実際に動作させて性能や機能を検証レポート



トラ技の見どころ ②

本1冊分! 80ページ 超の大型特集

注目の技術や今まさに必要とされている部品/IC、実装/測定技術などに焦点を当て、網羅的かつ具体的に解説



トラ技の見どころ ③

今や当たり前!マイコンや FPGA の活用技術

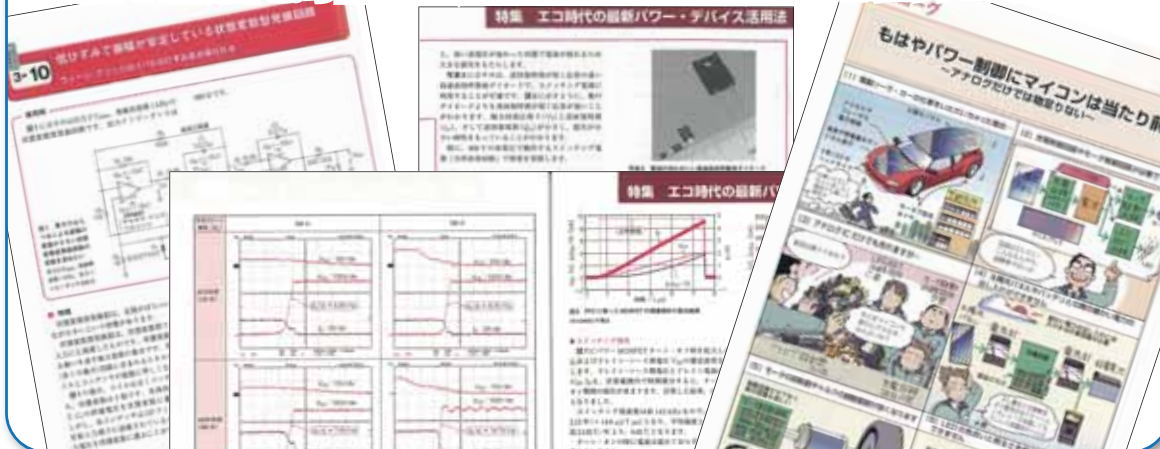
現代の電子機器に欠かせないマイコンやFPGAの最新情報や活用技術を解説



トラ技の見どころ ④

重要度が増すアナログ技術情報

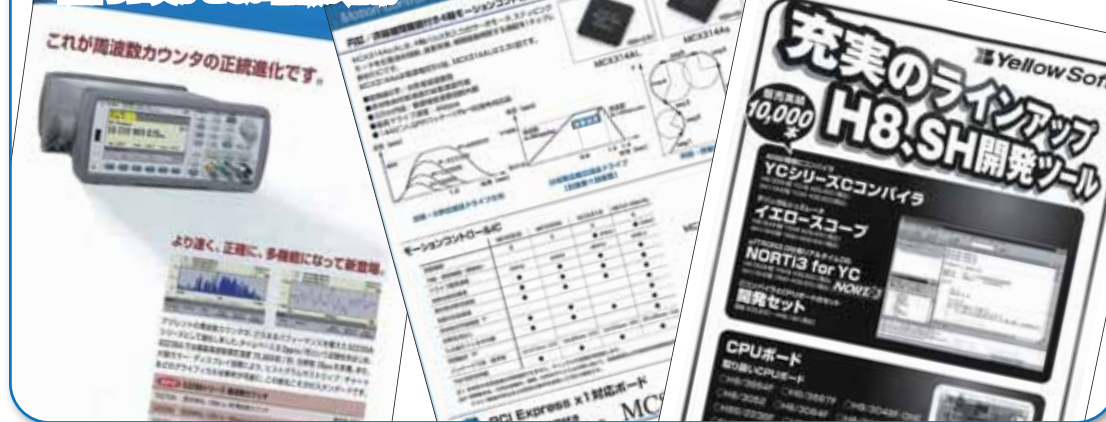
「性能」と「信頼性」という付加価値を決めるアナログ技術を経験豊富なプロのエンジニアが解説



トラ技の見どころ ⑤

各号120社を超える充実の広告情報

最新の半導体 / 部品や測定器、オリジナリティの高い開発用ボードや装置、流通部品の一覧など物作りに欠かせない情報が満載



トラ技の見どころ ⑥

キットで試しながらじっくり学習

臨時増刊号や書籍に付録されているキットの応用事例を詳しく解説



トラ技広告を有効に活用するために ～押さえておきたい3つのポイント～

ポイント

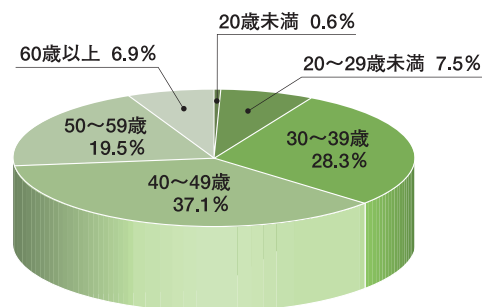
1

読者に合わせた広告を掲載するべし

トランジスタ技術の読者は、設計・開発の最前線で活躍するエンジニアです。実務に役立つ製品やサービスの情報を、分かりやすく掲載することが広告効果を高めるポイントです。

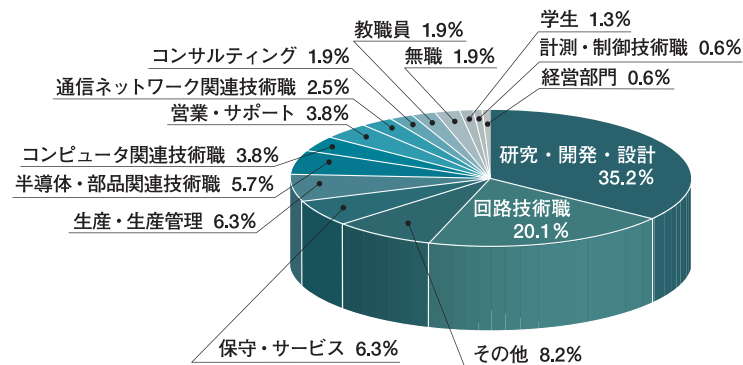
年齡

●読者の約65%が30～40歳代の最前線で活躍するエンジニア



職 種

●読者のほとんどが、産業から民生まで幅広い分野で活躍する研究・開発・設計部門に関わるエンジニア



●製品広告の例

新製品情報やイチオシ製品情報の告知には「製品広告」がオススメ！

トラ技で
広告効果を高める
原稿作成のポイント!

自社広告

目的が明確

製品画像が大きい

製品の特徴が 数字で表記

価格が分かる

製品についての 連絡先が分かる

●製品カタログ広告の例

電子部品販売店やボード・モジュール・キットなどを扱うメーカー、商社、販売店の PR は「製品カタログ広告」がオススメ！

画像を掲載して
製品を紹介

ネット販売
ページのURLも
忘れずに表記

製品購入方法や
問合せ先を明記

豊富な製品群を
表で見やすく掲載

製品の型番・
シリーズ名を
見やすく表記

製品の価格を 明確に

店舗の所在を 地図で表記

ポイント

2

広告掲載することで利用可能な特典・サービスを確認するべし

広告効果を高めるための「特典・サービス」を実施しています。

※詳細は、お問い合わせください

特典1 広告への導線として
ダイジェスト目次を掲載できる。

特典 2 ご掲載の広告原稿が
Web サイトにも公開される。

サービス 本誌や Web サイトにニュースリリースや
訪問取材記事が掲載されるチャンスがある。
※詳細はお問い合わせください。



広告ページの掲載位置と特徴を把握するべし

掲載可能な広告欄として、表紙広告、プレミア・スペース広告、常設広告スペース（前付け・後付け）があります。

▼ 表紙広告（4色特殊枠 表1、表2、表3、表4 各ページ1社限定）

トラ技を手にした瞬間に広告情報が読者の目に触れる確率が高い広告枠です。

▼ プレミア・スペース広告（4色1ページ 各ページ1社限定）

50音別広告索引対向 / 広告ダイジェスト索引対向

企業や製品の情報を探すために広告索引を利用する読者に対しても情報が発信できる広告枠です。

編集扉対向

編集記事を読む読者に向け、効率よく情報を発信できる広告枠です。

▼ 常設スペース広告（前付け、後付け広告ページ）

広告掲載枠や色に複数の選択肢がある広告スペースです。編集記事を基準に前付け・後付けの掲載が選べます。「前付け」は主に製品の告知「後付け」は主に製品の販売の告知に適したスペースになっています。

▼ 特別企画 訪問レポート記事

トラ技筆者が広告掲載企業を訪問し、広告誌面では伝えきれない企業の魅力を記事にまとめ徹底レポートします。



表1



表2



編集記事目次



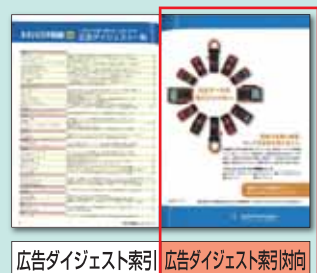
編集記事目次



50音別広告索引



50音別広告索引対向



広告ダイジェスト索引



広告ダイジェスト索引対向



常設広告スペース前付け

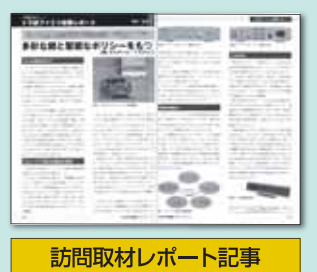


編集扉対向

約180頁にわたる編集記事



編集最終ページ 後付け広告ダイジェスト索引



訪問取材レポート記事



常設スペース広告後付け

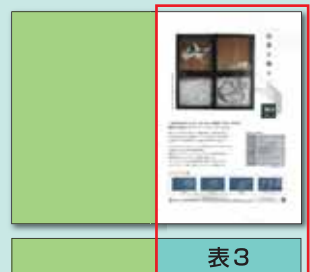


表3



表4

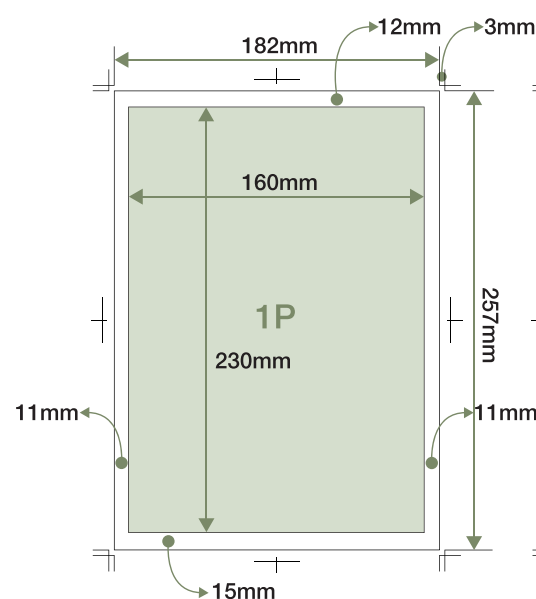
赤枠は、広告掲載可能スペースです。

入稿要項

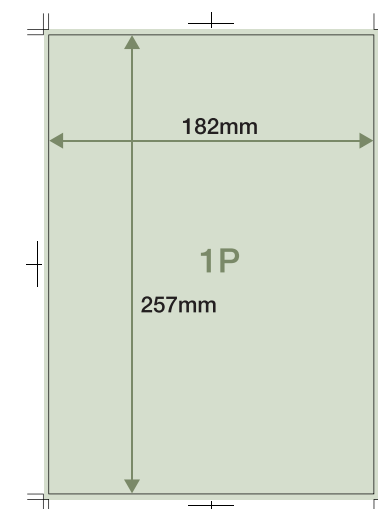
●データ入稿の注意点

1. データ入稿フォーマットはMac仕様に限りません。
2. 出力ファイルと貼り込みファイルは同一階層に保存してください。
3. 画像はすべてEPS形式にしてください。フォントはすべてアウトライン化してください。
4. 使用色は、CMYKもしくはモノクロのみです。
5. 塗り色指定はすべてヌキ合わせにしてください。
6. スミベタ文字や罫線はオーバープリントにしてください。
7. 線は0.3ポイント以上、ヌキ文字は8.5ポイント以上を使ってください。
8. トンボは使用するすべての版に入れてください。
9. 断切版広告で利用する絵柄は版面サイズ(外トンボ)まで作成してください。
10. データは原寸で作成してください。
11. オリジナルデータのバックアップは必ず行ってください。
12. ウイルスチェックは、必ず行ってください。
13. 使用できる書体は「データ出力指示書」に記載のあるフォントに限りません。
14. その他は弊社にお尋ねください。

●普通版

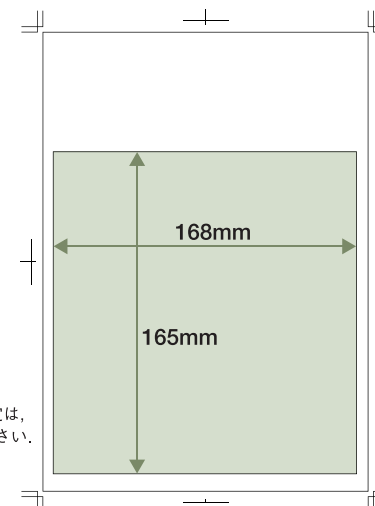


●断切版



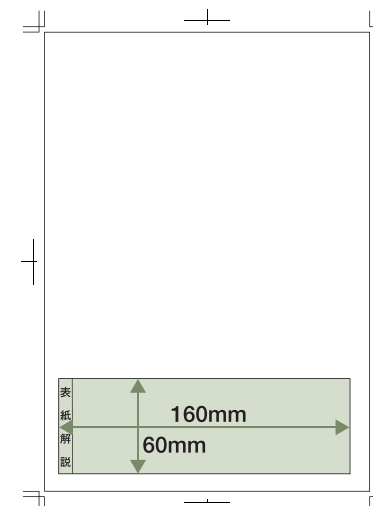
注意事項
欠けてはならない文字・写真・ロゴ等は仕上げ寸法の天地左右より10mm以上内側に納めてください。

●表1



注意事項
表1制作上の規定は、別途ご確認ください。

●表紙解説



入稿要項

広告掲載料金・寸法表

スペース	普通版料金(円)	普通版:天地×左右(mm)	断切版料金(円)	断切版:天地×左右(mm)
表 4	720,000	230×160	792,000	242×171
表 1	720,000	165×168	—	—
表 2	640,000	230×160	704,000	257×182
表 3	570,000	230×160	627,000	257×182
4色1ページ	560,000	230×160	616,000	257×182
2色1ページ	320,000	230×160	352,000	257×182
前付白黒1ページ	240,000	230×160	—	—
前付白黒1/2ページ	160,000	110×160	—	—
後付白黒1ページ	198,000	230×160	—	—
後付白黒1/2ページ	132,000	110×160	—	—

※上記広告掲載スペース表示枠は、主要広告スペースをご案内しています。詳細は、別紙広告料金表をご覧ください。

広告進行日について

別紙広告進行日程表にてご確認ください。

注意事項

- 横組み広告はお受けしていません。
- 比較広告および記事体広告につきましては許容形式・内容等を事前にご確認ください。
- 求人広告以外での求人項目の記載は事前にご確認ください。
- その他の掲載要綱につきましては日本雑誌広告協会の規定に準拠します。

入稿の流れ



※訂正が生じた場合は、修正済データを改めて入稿。
※再入稿の場合のデータ出力確認票はお出しできません。